

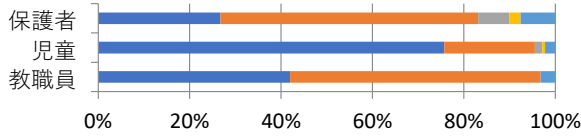
令和4年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

①いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

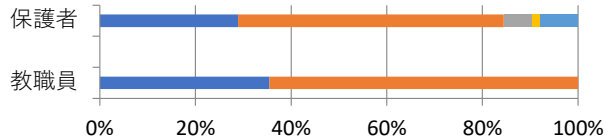
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

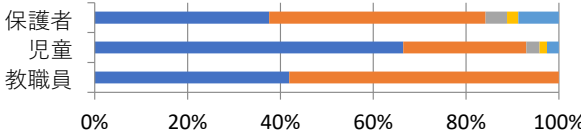


児童、教職員ともに、肯定的な評価は9割を超えており、一人一人のいのちや心を大切にしたい指導や対応に丁寧に努めていると言える。保護者の肯定的な評価も8割を超えているが、「そう思う」が3割未満であり、肯定的でない評価もあることを受け止め、更なる改善を行っていききたい。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

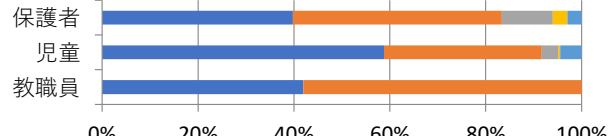
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

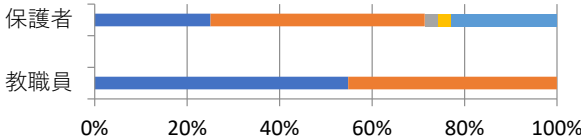


肯定的な評価は教職員は10割、児童は9割を超えている。対話を核として深く学ぶ児童を育成するためにICT活用も含め授業改善に取り組んでいる。保護者の肯定的な評価も8割を超えているが、そうでない評価もあることから、更に自ら考え主体的に行動する児童の育成に向け、子ども主体の授業へと改善を行っていききたい。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

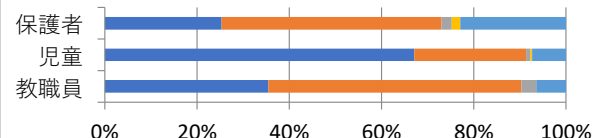
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



きずなアンケートの活用や毎月行われる特別支援教育コーディネーター会が十分に機能しており、生徒指導等とも連携してチームでの対応につながっている。その一方、児童や保護者においては「わからない」との回答も多く、教育相談等、校内の支援体制の周知やその理解に努めていく必要がある。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
コロナ禍で集合しての学校行事やPTA行事も行えない状況だったため、保護者による家庭や地域との連携の評価は肯定的なものが7割程度となっている。事故防止においては、避難訓練や保健の授業等も計画的に行われているが、より一層定着、維持できるように努めていきたい。	

学 校 関 係 者 評 価
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で中止していた学校評議員会を開催したり、運動会に来賓として招いたりする中で、学校への理解が深まり、学校教育目標に賛同いただき、ICTの活用や働き方改革など学校の変化についても評価いただいている。 ・ 学校便りの配布やHPの紹介などを通して地域への広報に努め、学校への理解が深まり好意的に協力いただいている。 ・ 登下校時の交通指導や地域学習などでも地域の方は学校に対して大変協力的である。